

女性84%が実感！“懐かしさ”の新しい消費行動 シェア型リバイバル消費

生活者インサイト総研
HERSTORY
一月刊生活者レポート

2026

10



CONTENTS 目次

01

アンケート調査①
リバイバル消費の流行に関する意識調査

02

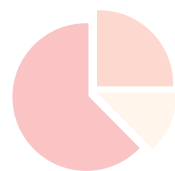
アンケート調査②
世帯状態で異なるリバイバル消費の実態

03

インタビュー調査
実際に購入しているリバイバル商品

04

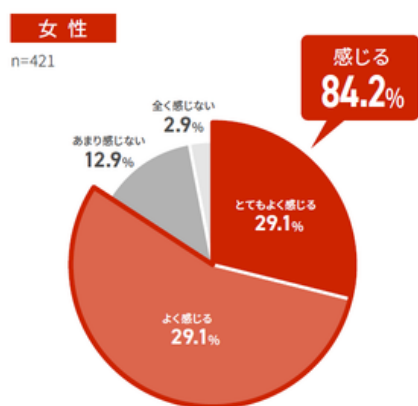
今月の女性トレンド
ピックアップトレンド商品3選



リバイバル消費は流行している？

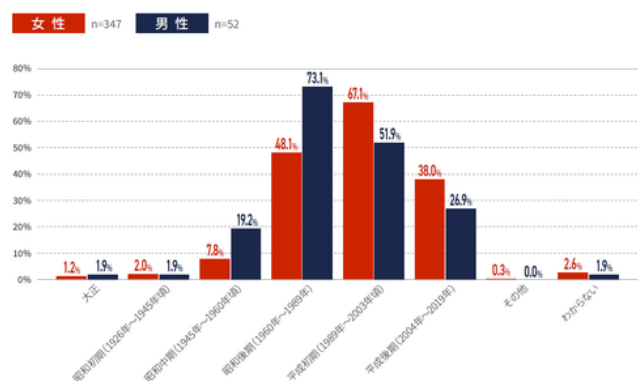
リバイバルの流行実感

Q.昔流行したものが復活していると感じますか？



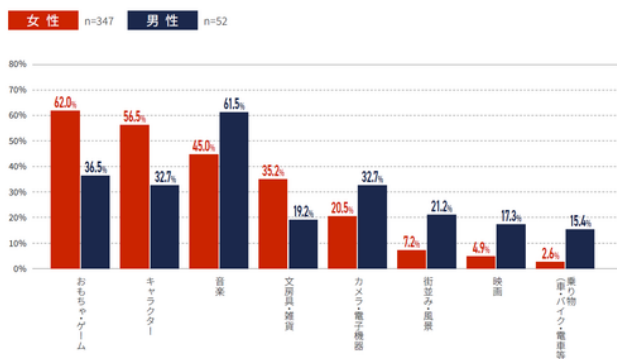
リバイバルの流行年代

Q.どの年代のものが流行っていると思いますか？



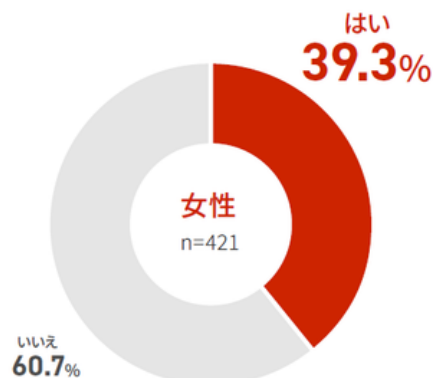
リバイバルのカテゴリ

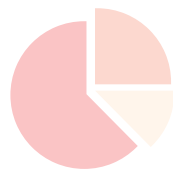
Q.どのカテゴリで昔流行したものが復活していると感じますか？



リバイバルの実体験

Q.あなたは「昔流行したもの」で購入したり体験したりしているものがありますか？

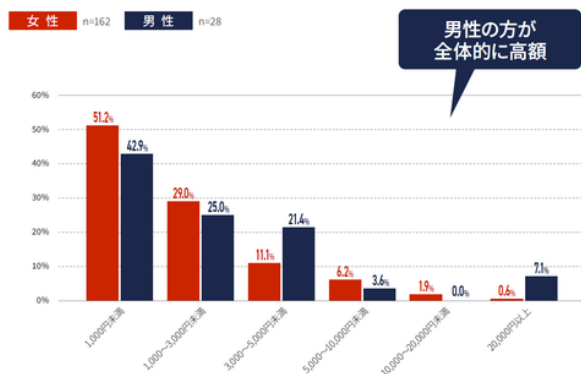




世帯状態によってリバイバル消費が異なる？

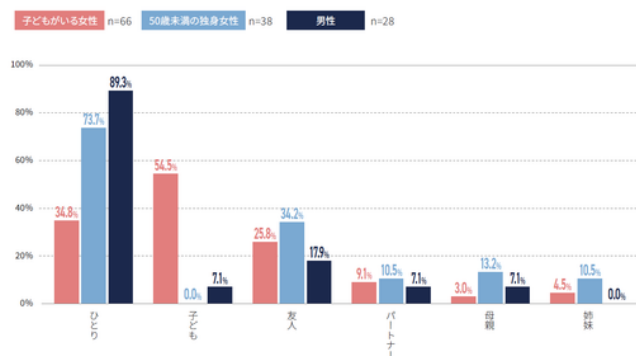
リバイバル消費への金額

Q.あなたは「昔流行したもの」に、月にいくらぐらい使っていますか？



誰と体験してしているか

Q.「昔流行したもの」は誰かと一緒にやっていますか？



考察



84.2%の女性が「昔流行したものが復活している」と回答し、リバイバルブームを強く実感しています。男性が「ひとり」で楽しむ一方、女性は子どもや友人と「誰かと楽しむ」傾向が顕著です。昭和・平成カルチャーが世代を超えた会話や体験を生み出す今、リバイバル商品は単に「懐かしむモノ」から「人と人をつなぐコミュニケーションの道具」へと変化を遂げています。

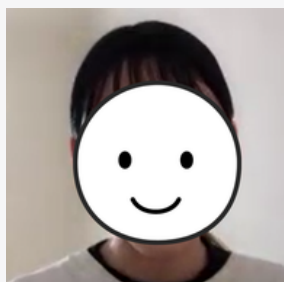
03 生活者調査で見えたこと



リバイバル消費に関するインタビュー結果

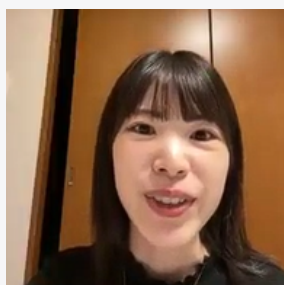
インタビュー調査

実際に購入・体験しているリバイバル商品



＜若手シングル＞
20代後半・未婚
アルバイト・一人暮らし

去年久しぶりにプリキュアを見始めたのをきっかけに、自分が昔見ていた時のプリキュアのグッズを集めています。普段はInstagramの公式アカウントで情報を見ているのですが、Xでちょうど放送10周年とかで出た記念グッズがセールになっているのをみかけた時は、グッズを買いに名古屋まで妹と行きました。



＜ヤング夫婦世帯＞
30代前半・既婚
会社員・夫と2人暮らし

ナルミヤキャラクターズのポップアップストアに行きたいなと思っているのですが、行かなくてもふらっと立ち寄ったお店などでグッズを見かけるので、可愛いなと思ってボールペンとかクリアファイルとか、文房具をいくつか買いました。あと、昔のたまごっちをやりたくなって、ちょっと前まで育てていました。



＜児童・思春期世帯＞
40代後半・既婚
専業主婦・夫、娘と同居

娘にはたまごっちのシールやグッズを買わされます。あとは、娘がYoutuberが歌っている動画を見て大塚愛の歌をよく聞くようになって、一緒にカラオケで歌ったりしてます。最近では、娘がY2Kとか韓国系のファッションをしたいらしくて、ラルフローレンのビッグポニーのシャツが欲しいと言われています。



ピックアップトレンド商品3選

01

いつもの服にひと巻きで華やぐ
「スカーフファッション」

シンプルな単色Tシャツやワンピースなどにスカーフをプラスするコーディネートが注目されている。首元に巻くだけで、カラフルな柄やシルクの艶がアクセントになり、大ぶりのジュエリーがなくても華やかな印象に。首元だけでなく、腰に巻いてベルト感覚で取り入れたり、バッグにつけるなどのアレンジも楽しめる。手持ちの服にひと巻きするだけでトレンド感を加えられ、世代を問わず人気となっている。

02

ファッションアイテムとしても人気
「ウォーターボトル」

マイボトル（水筒、タンブラーなど）に飲み物を入れて持ち歩く人が増え、定着してきている。その中でも、軽量でかつデザイン性を兼ね備えたプラスチック製の「ウォーターボトル」が増え、ファッションの一部としても人気が出ている。大容量からミニサイズまでさまざまなサイズがあり、カラーやデザインも豊富。目盛付きのものや、取っ手付きでバッグから取り出しやすいもの、チャームを付けて自分らしくアレンジできるものなどさまざまなタイプが登場している。

03

かつての簡単おやつが復活！
「永谷園マグカップケーキ」

2000年に発売され、2014年に販売終了した永谷園の「マグカップでふっくらケーキ！モコモコ」が復活。再販を望む声は10年間で500件以上にのぼり、SNSでも復活を願う声が続いていた。卵1個と混ぜて電子レンジで約2分加熱するだけで、マグカップの中でふっくらケーキが完成。1食分の使い切りタイプで、食べたいときに少量作れるのも魅力。懐かしさだけでなく、手軽に作る楽しさや達成感も味わえるとして、一人でも家族でも楽しめるリバイバル商品となっている。